

# ふるさとイベント大賞

各賞  
決定!



内閣総理大臣賞



## 大分国際車いすマラソン

### ① 大分市内コース

1981年の国際障害者年に世界初の車いすだけのマラソン大会として始まった大分国際車いすマラソン。世界最高峰のレースとして、障がいの重い選手から世界トップクラスの選手が共に走る姿は、必ず感動と勇気を与える大会です。



最優秀賞



## 山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル

### ② 山形市 馬見ヶ崎川河川敷 双月橋付近

山形の秋の風物詩として地域の人々に愛される「芋煮会」を日本一の規模で開催するフェスティバルです。令和2年はいつもとは形を変えて、コロナに負けずドライブスルー形式で開催しました。



優秀賞



## SHIROFES.

- 踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。 -

### ③ 弘前城本丸

SHIROFES. は、弘前の重要な歴史的建造物であり、日本有数の桜の名所として有名な「弘前城」を舞台に、平成28年より開催している、世界最大級のダンス & パフォーマンス複合フェスティバルです。令和2年はオンラインで開催しました。



## 第70回 砺波チューリップフェア

### ④ 砺波チューリップ公園 (主会場)

とらみチューリップフェアは、国内外から約30万人が訪れる北陸を代表する花の祭典。会場内では国内最大級300品種、300万本の色とりどりのチューリップが咲き誇り、多くの来場者を魅了します。



## 音信川うたあかり

### ⑤ 長門湯本温泉街

冬の長門湯本温泉では、地元出身の童謡詩人金子みすゞの詩をテーマにした灯りイベント「音信川うたあかり」を実施。温泉街を包む幻想的な光の演出、市内の児童生徒が制作した数千の手作りモチーフでの特別な風景をお楽しみください。

## ふるさとキラリ賞



## 「オペラ『石見銀山』の制作、継続公演祝『日本遺産認定』オペラ石見銀山オールキャストコンサート

### ⑥ 屋：国立三瓶青少年交流の家 夜：大田市民会館

「オペラ『石見銀山』」は、西洋のオペラと島根県石見地域の石見神楽を融合させた、これまでにない全く新しい創作オペラです。今回、その挿入歌で構成したプログラムで、プロのオペラ歌手と地元合唱団によるオールキャストコンサートを開催しました。



## 第24回 いわみ子供神楽フェスタ 2021

### ⑦ 浜田市立原井小学校

世界に誇る郷土芸能石見神楽を次世代へと受け継ぐ子供達が一同に会して、日頃の汗や涙を流して練習をしてきた成果を「神」となり「鬼」となり、全身全霊をかけて上演しました。

## 選考委員特別賞



## 全国「かまぼこ板の絵」展覧会

### ⑧ 西予市立美術館ギャラリーしらかわ

食後廃棄される「かまぼこ板」を日本一小さなキャンパスにし、幼児から高齢者まで幅広い世代が想いを込めて描いた作品たちは、様々な人と人との想いを紡ぎ大きな感動となります。木のぬくもりを活かした、世界的に珍しい展覧会です。

EVENT  
MAP





## ひとの想いが イベントを創る

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。今回で26回目を迎え、第25回までに、186の個性豊かなイベントを表彰しています。今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流につながる地域の活性化を目指しています。

主催 ● 一般財団法人地域活性化センター

### ● 応募対象イベント

次の①・②・③のいずれかに該当するイベント。

- ①第1回～第25回までに大賞、最優秀賞等の各賞を受賞したイベント  
※今年度の開催の有無は問わないが、来年度以降継続性があるもの。
- ②第21回～第25回までの次点イベント  
※今年度の開催の有無は問わないが、来年度以降継続性があるもの。
- ③令和2年7月1日から令和3年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベント  
※オンライン開催も対象。

### ● 選考過程

イベント主催団体から、市区町村等を通じ、都道府県へ応募書類を提出していただきました。今回の応募総数は74件でした。応募されたイベントについては、イベントプロデューサーや学識経験者等により構成される「第26回ふるさとイベント大賞選考委員会」において、厳正な審査を行い、受賞イベントを決定しました。なお、選考にあたり、右記の選考基準を基にイベント内容を総合的に判断しました。

### ● 選考基準（評価のポイント）

- |        |   |
|--------|---|
| 企<br>画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を積極的に活用している。（地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など）</li> <li>・独創性に溢れ、新たな地域の魅力を創り出している。</li> <li>・多くの人を惹きつける魅力がある。</li> <li>・魅力を増すための創意工夫が顕著である。</li> </ul> |
| 効<br>果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。（低予算でも波及効果が大きいなど）</li> <li>・地域の知名度アップに貢献している。</li> <li>・地域住民の郷土意識の高揚に繋がっている。</li> <li>・伝統文化の継承や新しい文化の創造に繋がっている。</li> </ul>        |
| 運<br>営 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている。）</li> <li>・地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。</li> <li>・継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。</li> </ul>                               |

### 選考委員長



**北川 フラム**  
株式会社 アートフロントギャラリー  
代表取締役

ながく続いたその地を代表するイベントにはふたつの型があるようです。〈大分国際車いすマラソン〉はその土地だけではなく、世界共有の課題に対して開かれたイベントで、多くのボランティアに支えられ、地元と外にある普遍性が交流しています。これに対して〈山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル〉は秋の山形ではどこでも見られる里芋、豚コマ、大根、人参、ゴボウをいれこんだピクニック仕様の芋煮会を大掛かりに盛り上げたもので、土地に固有な生活に根ざしたものです。〈SHIROFES.2020- 踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。〉は津軽の伝統を現代に活かしたものだし、〈第70回砺波チューリップフェア〉は文字通りの砺波のチューリップで、〈音信川うたあかり〉は郷土の詩人、金子みすゞに因んだものです。〈かまぼこ板の絵〉はそんななかでのアイデアのヒットでしょう。審査はいつも楽しいことを報告しておきます。

### 選考委員



**内原 智史**  
株式会社  
内原智史デザイン事務所  
代表取締役



**楓 千里**  
國學院大學  
研究開発推進機構  
教授



**角田 光代**  
作家

【撮影：垂見健吾】



**吉本 光宏**  
株式会社  
ニッセイ基礎研究所  
研究理事



**出田 恵三**  
日本放送協会  
制作局  
専任局長



**古尾谷 光男**  
全国知事会事務総長



**馬場 竹次郎**  
総務省大臣官房地域  
力創造審議官



**椎川 忍**  
一般財団法人  
地域活性化センター  
理事長